

Topics

今月のトピックス

- ✓ 事業アイデア創出コミュニティ「Homing」 Day2・Day3 開催報告・Day4開催のお知らせ
- ✓ 4校連携の産業分野でグループワークを実施！・地元高校生が津山市のスマートシティの将来像を提案
- ✓ 「どこに住み、働くか」YouTube 掲載・ヒューマンエラー防止研修
- ✓ ものまねタレント小林 穂高 氏がつやま産業支援センター特命大使に就任
- ✓ 熱血青春を忘れないおじさんのコラム
- ✓ 9月～10月 役に立つイベント等のご案内

～∞～ 事業アイデア創出コミュニティ「Homing」 ～∞～
Day2・Day3 開催報告

Day2 7/6(土)

Day3 8/10(土)

『∞(むげん)に湧き出るアイデア発想法』

『地域資源を生かしたビジネス創出』

国内外累計335万個を発売した「∞(むげん)プチプチ」の企画開発に携わった、元バンダイの高橋晋平氏に、アイデアの出し方から商品化、マーケティングまでを詳しく解説いただき、参加者の方々も熱心に耳を傾けました。

元日南市マーケティング専門官の田鹿倫基氏に地域に根ざしたビジネスの作り方やベンチャー企業との協業事業、地域活性化のポイントなどをご紹介いただき、多くの方が共感されていました。



Day4 9/27(金) 18:30～21:00 (講演18:30～/交流会19:30～)

参加者募集中!

会場 INN-SECT 津山市二階町29

料金 1,000円 交流会参加の場合+1,000円/学生無料

定員 20名

岡山県北の事業アイデア創出コミュニティ
Homing 2024
DAY-4 9.27 FRI 18:30-21:00
事業プランを絶対にモノにする
圧倒的な執着!
株式会社地元カンパニー 代表取締役
児玉 光史

東京大学卒業後、株式会社電通総研を経て、家業のアスバラを手売りしながら『株式会社地元カンパニー』を設立し、全国の”地元”にフォーカスした新ビジネスを続々立ち上げた児玉光史氏を特別講師にお迎えし、「事業プランを実現し、成功させる方法」をテーマにお話しいたします。

申込み

右記の申込みフォームまたはHPよりお申込み下さい。



4校連携の産業分野で グループワークを実施！

津山市内の県立高校4校の生徒が地域の魅力・課題を発見し、その課題解決に向けて考えることを通じて、地域とのかかわりを深める「4校連携」と称した取り組みが行われており、当センターでは「都会」と「田舎」の違いや「津山の産業分野の特徴」について講演し、以下のテーマについて生徒の皆さんのディスカッションが行われました。

- ① 自分は「都会」と「田舎」のどちらで暮らしたいか
- ② 津山市の「魅力を高める」にはどうしたらよいか

「都会に出たいと思っていたが、津山市の良い部分を再認識し、津山に残りたいと思った。」「私は都会に出てバリバリ仕事をして、将来は起業したい。」など「都会」と「田舎」の長所や欠点を考慮した上の、それぞれの考えを発表しました。

また、「津山市には魅力がたくさんあるのに認識できていなかったり、しっかり広報できていないことが課題だと思う。」「進学に対する選択肢を増やしてほしい。」など津山市がより良くなるための案を多数発表していただきました。



地元高校生が津山市の スマートシティの将来像を提案

「つやま城下ハイスクール×慶応義塾大学SFCアイデアソン」が8月17(土)にアルネ津山の地域交流センターで開催されました。

これは、慶応義塾大学SFC研究所の学生が主体となり開催したもので、市内の高校生12名が地域産業を起点としながら、デジタル技術を活用したスマートシティの将来像を提案しました。

当日は地域企業として(株)paintory、(株)ファインアートかわばた、(株)フランウッドの代表者にご参加いただき、高校生からは「ドローンの空撮画像による植林計画」「防災ウェアラブル端末」「データを利用した空き家活用」などのアイデアが提案されました。

各企業の代表者からは、「自由な発想に感心した」「今後の事業の参考にしたい」といった感想をいただきました。



地元と都会を比較 「どこに住み、働くか」 YouTube 掲載



昨年は津山工業高校で、先月は市内の四校連携講座「地域創生学」にて、高校生へ「どこに住み、働くか」をテーマに地元と都会を比較したお話をしました。

都会の方が給与面など良い場合もありますが、可処分所得は低いことや、案外気づかない地元の良さなどお伝えし、聴講された生徒さんから「将来津山に残りたい、帰ってきたいと思うようになった」といった嬉しい感想をいただいたところです。

東京一極集中が続く中、多くの方に見ていただければと思い、動画にまとめました。是非ご視聴いただけますと幸いです。

つやま産業支援センター事務局長 沼 泰弘

都会の良いところ

	大都市	地元
仕事	種類・量とも多い	種類は少ない
給料	高い場合が多い	都市圏より低い場合が多い
小売業、飲食店、サービス業	多い	少ない (web購入可能)
公共交通 (電車、バスなど)	充実している	自家用車が必要
旅行、ライブ、スポーツ観戦等のレジャー	かかる費用が安く充実 (半面渋滞や混雑)	かかる費用が高く不便 (車での旅行は便利)

地元の良いところ

	大都市	地元
住居費	高い	安い (実家に住めばなお安い)
生活費	一人暮らしの場合高い	実家に住めば安い
自動車	駐車場代が高い	駐車場代が安い
渋滞、混雑、満員電車	日常的にある	殆ど無い
自然や新鮮な野菜、果物等	少ない	ある
子育て	親の支援を受けにくい	親の支援を受けやすい

10/23(水)開催 受講料**無料**

ヒューマンエラー 防止研修



前回受講者アンケート理解度、満足度95%!

ヒューマンエラーによる「品質不良発生」「利益の減少」「信用失墜」はあらゆる企業が潜在的に抱えるリスクです。ヒューマンエラーの本質を理解しさまざまな事例の分析を通して、ヒューマンエラーを防止できる力を身につけます!

日時：10月23日 (水) 9:00~16:00

定員：先着30名

会場：津山市役所東庁舎3階 E302会議室

対象：ヒューマンエラーの防止活動に興味のある地域内企業

参加費：無料

講師：荒砂 三喜男氏

(つやま産業支援センターアドバイザー)

締切：9月30日 (月)

お申込み



HP



ものまねタレント 小林 穂高 氏が つやま産業支援センター特命大使に就任



津山市の産業の魅力と共に発信する津山市ゆかりの芸能関係者、著名人などを「つやま産業支援センター特命大使」と銘打ち、これまでも津山市の地元職人が作ったこだわりのアパレル製品や特産品など、津山市の産業の魅力を中心に発信していただいています。

この度、ものまねタレントとして活動されている津山市出身の小林 穂高氏を特命大使として任命し、委嘱式を9月2日に執り行いました。津山市の産業や商品の魅力などをPRしていただきます。

小林氏からは「津山の人々の魅力そのものを全国に広めていきたい」と意気込みをいただきました。



熱血青春を忘れないおじさんのコラム

コーディネーター 福田 雅史

30年ぶりのマウンテンバイク！

知人の勧めで最新の電動マウンテンバイクを手に入れました。スピードを競うのではなくのんびりと自然と触れ合うには最適な選択です。自転車を漕ぐ人間のパワーが150ワット程度であるのに対し、電動モーターが250ワットも仕事をしてくれますので急峻な山道でも楽々です。早速、鏡野から加茂の林道に行ってみました。いつも走っているアスファルト道路と違って、未舗装の林道は自分のペースでゆっくりと走れると思っておりました。しかし、30年前とは様子が大きく変わっていました。とにかくシカが多い！

また、アナグマも側溝に隠れており急な飛び出しがあり危険です。ガサガサ音とともにシカが飛び出してくるたびに「ひょっとしてクマも出てくるのでは？」と恐怖でいっぱいになり、精神的によろしくありませんでした。県内の林道を調べてみると瀬戸内市の虫明（むしあげ）に日本でも珍しい海に見える林道がありました。試走してみました。非常に走りごたえがある林道です。なによりもクマの出没の可能性がほぼ無いということがうれしいポイントです。新たな発見に豊かな気持ちになれました。

-- 瀬戸内市 虫明林道にて --



基本の基本

先日、以前勤務していた岡山大学新医療研究開発センターを久しぶりに訪問しました。この組織のミッションは『革新的な医療技術の実用化』であり、人々の健康寿命の延伸を目的としております。

日本の医療機器開発は海外に大きく後れを取っており医療機器における貿易収支は▲1兆円に迫っています。医療機器で圧倒的に強いのはアメリカ企業で世界ランキング10社に8社が入っております。日本企業は10位ランキング圏外です。

アメリカ企業はなぜ強いのでしょうか？様々な見解がありますが、最も大きな要因は『基本であるマーケティングをしっかりと行っている』ことにあります。

つまり、開発している自社製品が市場でどの程度の付加価値があり、どのような人に対して利益を与えることができるのかを開発の前段階で徹底的に分析します。売れるものに絞って開発を進める文化がアメリカ企業に根付いているのです。この手法を『バイオデザイン手法』と言い、スタンフォード大学で提案され発展してきました。アメリカ企業はこの手法を活用しながら当たり前のように産学連携を高度に進めることにより、マーケットにジャストフィットした魅力ある製品を生み出しています。

日本でも岡山大学がこの手法の普及活動を行っております。多くの日本企業は技術部門がロードマップを作成し企業活動の方向性を決めていました。しかし、残念ながらそのような方法では世界市場には通用しません。バイオデザイン手法の最大のポイントは市場調査の段階で、実際に製品を使う現場に赴き、実際に使用する人の意見をヒアリングすることにあります。ステークホルダーはその次です。

人口減少で人員確保が困難になっている今だからこそ、本当に売れるものに絞って製品開発やサービス展開をしたいものです。社会に対して価値ある会社になるための基本の基本であると思っております。

次回から、コーディネーター奥田のコラムがスタートします。



会場：津山商工会議所
津山商工会館3階
毎週月曜日 10:30～19:30

●お問い合わせ先（予約）
岡山県よろず支援拠点
Tel 086-206-2180



INPIT 岡山県
知財総合支援窓口

会場：つやま産業支援センター
津山市役所東庁舎

毎月第3水曜日 10:00～15:00
(オンライン相談対応可能)

●お問い合わせ先（予約）
岡山県知財総合支援窓口
Tel 086-286-9711



役に立つイベント等のご案内

日付	イベント名	概要	時間	会場	問	
9月	18(水)～19(木)	精密測定技術	測定器の定期検査方法を含めた正しい取り扱いと、測定方法、データ活用、誤差要因とその対処に必要な技能・技術を習得します。	9:30～16:30	ポリテクセンター岡山	①
	25(水)	時代の流れに乗遅れないChatGPTの薦め	無料のAIツールを活用した事例を紹介し、クライアント納得の完成度の高い資料の作成法をお伝えします。	16:00～19:30	アルネ・津山4階地域交流センター	②
	25(水)～27(金)	NC旋盤プログラミング技術	各種機能とプログラム作成方法やプログラミング課題実習などを行います。	9:30～16:30	ポリテクセンター岡山	③
	26(木)	自動化で業務効率アップ	繰り返しの作業にサヨナラ！自動化で業務効率をアップしましょう。	15:00～17:00	津山市役所東庁舎1階	④
	27(金)	令和時代のママの暮らし・働き方	子育てママのお金に関する不安や疑問を経験豊富なお金のプロと解決しましょう！	10:30～12:00	アルネ・津山4階地域交流センター	⑤
	27(金)	事業プランを絶対にモノにする圧倒的な執着！	岡山県北地域で起業をお考えの方、ローカルビジネスに興味があり、リアルな話を聞きたい方、ぜひご参加ください。	18:30～21:00	INN-SECT (インセクト)	⑤
10月	3(木)～4(金)	自社をWEBで見つけてもらう方法を学ぶ2Days	SEO (検索エンジン最適化) の基礎知識、採用されやすくするプレスリリースの書き方など、ウェブ上で効果を出すためのノウハウを解説します。	14:00～16:00	アルネ・津山4階地域交流センター	⑤
	7(月)	Webマーケティング基本講座	Webサイトを活用した「売れる仕組み」の全体像を理解し、自社の状況を振り返りながら、売り上げにつながるWebサイト構築の基本を学びます。	9:30～16:15	オンライン	③
	9(水)	【企業向け】効果的な画像・動画の撮影、活用法	ビジネスにおけるビジュアルの重要性などについて学びます。ブログやSNSを発信している方は必見です。	10:30～12:30	津山男女共同参画センター「さん・さん」	⑤
	18(金)	個人のキャリア戦略と企業の採用戦略	ご自身のキャリアやライフスタイルの価値観について考え、理想の働き方を描き出すお手伝いをします。	18:30～20:30	津山男女共同参画センター「さん・さん」	⑤
	18(金)	部下のやる気高めるノウハウ習得講座	部下の意欲を高めるノウハウと、モチベーションの高め方を実践的に学び、職場と部下の同時成長を目指します。	9:30～16:15	テクノサポート岡山	③
	22(日)	津山のデザイナーによるデザイン基礎講座	Instagramやデザインの基礎、Canvaの活用方法について解説し、デザインの疑問にお答えします。	13:30～15:00	アルネ・津山4階地域交流センター	②
	24(木)	クラウドを強い味方に	クラウドってどう使うの？など基本から応用まで、やさしく解説します。	15:00～17:00	津山市役所東庁舎1階	④
	29(火)	自分に合ったキャリアの見つけ方	自分自身のモノの捉え方や、コミュニケーションのスタイルなどを知り、仕事やプライベートで上手く活かしていきましょう。	13:30～15:00	アルネ・津山4階地域交流センター	⑤
	募集	第29回つやまロボットコンテスト 小中学生の部 参加者募集	12月15日(日)に開催の第29回つやまロボットコンテストについて、小中学生の部の参加者を募集しています。募集チーム数(24チーム)に達し次第、募集を終了しますのでお早めにご応募ください。以下、参加申込書等大会についてのホームページ https://www.tsuyama-biz.jp/tsuyamarobocon/event.html		【締め切り】 9月27日(金)	⑥

お問い合わせ先

- ①ポリテクセンター岡山 Tel 086-246-2530
②津山クリエイティブ人材ネットワーク Tel 0868-24-0740
③岡山県産業振興財団 Tel 086-286-9661
④津山市地域雇用創造協議会 Tel 0868-31-7080
⑤津山まちなかカレッジ事務局 Tel 0868-35-2405
⑥ザ・チャレンジ実行委員会 Tel 0868-24-0740